

地球環境基金助成事業

「日本における環境と女性・ジェンダーに関する事例集の作成とプラットフォーム構築」

持続可能な未来を創るための環境と女性・ジェンダー プラットフォーム 意見交換会／キックオフイベント(第2回)

趣意書

私たちが目指す社会は、持続可能性(サステナビリティ)を核として、性(ジェンダー)や年齢、国籍、障害の有無などによらず、すべての人がその個性を尊重され、力を発揮することができ、多様性が大切にされる社会です。

日本の各地で、女性の視点を生かした、持続可能な地域社会づくりに向けた活動が行われています。各地で活動を進めている人びとのお話を聞き、意見や情報を交換し、さらに活動を推進するために意見交換会を開催します。これは今後の活動に続くキック・オフでもあります。

日程:

| | | | | 場所 |
|-----|------------------------|----------------------------|-------------------|------|
| 集合 | 9月19日(土) 午後1時 | | | 鱒ヶ沢駅 |
| 第1部 | 9月19日(土) 13時30分～18時 | クロモジ採取活動参加 | プラットフォーム参加者のみ | |
| 第2部 | 18時～21時 | 参加者間の話合い 白神自然学校の女性の話を聞く | プラットフォーム参加者のみ | |
| 第3部 | 9月20日(日) 9時～11時30分 | 事例報告 | 白神自然学校の参加者＋地域外参加者 | |
| 出発 | 9月20日(日) 午後12:30 | 鱒ヶ沢発 | 萩原、太谷、藤井 | 鱒ヶ沢 |

プログラム(案)

9月19日(土)

| | | |
|--------|-----------------|--|
| 13:45 | 開会、はじめに | |
| 13:45～ | 活動視察 | |
| 16:00 | 地域を見る | |
| 18:00 | 夕食・懇談会 | |
| | 今後のプラットフォームの進め方 | |

9月20日(日)

| | | |
|------------------|------------------------------------|---|
| 9:00 | 開会、はじめに | 北九州サステナビリティ研究所 織田由紀子 |
| 9:20 ~ 10:20 | 活動事例紹介 | |
| | 1) 世界自然遺産白神山地の保護における女性の役割 | 白神自然学校一ツ森校 代表理事 永井雄人 |
| | 2) 菜の花でつなぐ循環型地域づくり | 菜の花プロジェクトネットワーク 藤井絢子 |
| | 3) 仕事をおこし、地域をおこす | NPO 地域づくり工房 太谷優子 |
| | 4) リユース食器レンタル事業で循環型社会の実現を | 認定 NPO 法人スペースふう 理事長 永井寛子 |
| 10:20~ | Q&A | 参加者 |
| 10:40 ~ 11:40 | コメントと情報提供 持続可能な社会づくりに向けての国内外の動き | アドバイザーグループメンバー ◇ 立教大学社会学部教授 萩原なつ子 ◇ 国連生物多様性の10年市民ネットワーク企画提言委員 今井麻希子 |

参加予定者:

| | | |
|------------|---|-------|
| 【地域外】 | | |
| 事例報告者 | 菜の花プロジェクトネットワーク | 藤井絢子 |
| 事例報告者 | NPO 地域づくり工房 | 太谷優子 |
| 事例報告者 | 認定 NPO 法人スペースふう | 永井寛子 |
| アドバイザーグループ | 立教大学社会学部教授、認定特定非営利活動法人日本 NPO センター常務理事 | 萩原なつ子 |
| アドバイザーグループ | 国連生物多様性の10年市民ネットワーク(UNDB 市民ネット)企画提言委員/SDGs・防災と生物多様性グループリーダー | 今井麻希子 |
| 事務局 | 北九州サステナビリティ研究所 研究員 | 織田由紀子 |
| 【地域内】 | | |
| 事例報告者 | 白神自然学校一ツ森校 | |